

御堂

令和7年7月1日

第4号

あきる野市立御堂中学校

校長 多田 春美

<http://jh-midou01.wixsite.com/mysite>

マンガ



校長 多田 春美

早いもので、夏休みまで3週間を切りました。

梅雨はどこに行ってしまったのかと思うほど、連日、強い日差しが降り注ぎ、校庭の雑草がぐんぐん伸びています。外部活の先生方は日焼けでどんどん黒くなりながら、指導とともに草抜き・草刈にも励んでくれています。生徒もその姿に感謝の言葉を述べたり、自主的に草抜きをしたりしており、「大人が手本のあきる野市」を踏まえた実践が子供たちに伝わっているなど感じます。今年も各運動部の活躍がめざましく、卓球、ソフトテニス、陸上、ソフトボールが夏の都大会に進出します。夏の大会予選で惜しくも敗れた部では、すでに3年生が引退しているところもありますが、気持ちを切り替えて学業に集中してほしいものです。

さて、6月初旬に、内斜視が増加し、スマホが少なからず影響しているというニュースを見ました。「内斜視」は片方の目が内側を向いてしまい、物が二重に見えたり遠近感がつかめなくなったりする病気です。



京都大学のグループによる研究では、2014年は患者が4万997人だったのに対し、2019年は4万6338人と6年間に5000人あまり、率にしておよそ13%増えていたことが分かったそうです。

そのニュースを見て、私自身も中学・高校生の頃、斜視と言われたことがあるのを思い出しました。当時の生活を振り返ってみると、たまに親に隠れて押し入れでマンガを読んでいたことがあります。原爆に関する内容の「はだしのゲン」とか、フランス革命の頃を題材にした「ベルサイユのばら」や古代エジプトを舞台にした「王家の紋章」など、今考えると比較的勉強に繋がったようなマンガだと思うのですが、マンガと言うだけであまりいい印象を得られない時代だったのかなと思います。斜視とともに近視が進んでしまったことを考えると、暗いところでの長時間、短焦点で物を見ることの影響を考えられなかった私はちょっと残念な人だったなあと苦笑いです。ぜひ皆さんには、SNSトラブルと同時に、健康面も考えてスマホ等を使うことをお勧めしたいです。

先日、7月12日から東京都富士美術館で行われる手塚治虫展のご招待券が生徒に1枚ずつ配られています。夏休み、昭和のマンガ文化に触れ、学びの幅を広げてみるのもよいかもしれません。

学習、部活動、家族旅行や行事など、充実した夏休みをお過ごしください。



